

Information ご利用案内

★プラネタリウム投影開始時刻(1回の投影時間は、約50分間です。)

	第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	第5回目
平日	9:50 (団体専用)	11:10	13:10	14:30	15:50
土・日・祝日	9:50	11:10 (キッズプラネタリウム)	13:10	14:30	15:50

※学校長期休暇中の平日は、第1回目9:50も投影します。

★休館日

毎週月曜日・第2火曜日・年末年始(12月27日~1月4日)
ただし、月曜日が国民の休日・祝日となる日は開館し、翌日が休館となります。

2月5日(火)、19日(火)、26日(火)、3月5日(火)、19日(火)、26日(火)は、外壁(タイル)の補修工事のため臨時休館となります。

★開館時間

午前9時30分より午後5時まで(入館は午後4時30分まで)

★観覧料

	大人	中学・高校生	小人
一般	700円	400円	300円
団体(30人以上100人未満)	630円	360円	270円
団体(100人以上)	560円	320円	240円
年間パスポート	2,000円	1,000円	700円

※年間パスポートは購入時から1年間、何度でもご利用いただけます。ただし、コンサートイベント等ご利用できない場合があります。

※高齢者割引、身障者割引を行っています。

★駐車場

普通自動車・マイクロバス(2時間まで): 200円(約90台)
バス(1回): 1,500円(大型バス8台)

★施設概要

日本標準時の基準となる東経135度子午線の通過地に建てられた「時と宇宙の博物館」です。プラネタリウムは現役では日本最古、稼働期間も日本一です。



- JR明石駅下車 東へ1km(徒歩約15分)
- 山陽電鉄丸前駅下車 北へ約0.2km(徒歩約3分)
- 車では国道2号線丸前交差点から北へ約0.2km
- 第二神明道路 大蔵谷I.C. から南西へ約3km
- 明石海峡大橋からは垂水出口を左折し、約6kmで国道2号線へ。国道2号線を西へ約4km(約20分)

明石市立天文科学館

http://www.am12.jp/
携帯サイト http://www.am12.jp/i/

〒673-0877 兵庫県明石市人丸町2-6
TEL.078-919-5000/FAX.078-919-6000
e-mail: info@am12.jp



星空のレシピ

VOL. 311 2013 2月号

明石市立天文科学館 広報誌「星空のレシピ」 時と宇宙を88倍楽しむお料理MOOK

星空の

2013

2

www.am12.jp

レシピ

VOL.

311



特集: 「天ボラ」大募集!



セイコー電波クロックは、いつでも「日本標準時」を刻みます。

SEIKO

セイコー電波クロックは、時刻合わせのいらぬ時計!

テレビや電話の時刻情報と同じ「日本標準時」をのせた電波を時計内のアンテナでキャッチ。毎日時刻を自動修正します。

電池を入れたら、自動的に時刻合わせがスタート!

電池をポンと入れるだけ。自動的に日本標準時に修正します。



掛時計 安心ライト 揺れを感知してライト点灯

暗闇での地震でも周囲を照らして心強い! さらに暗い時に時刻を読み取りやすい光センサーライトも搭載!



KX350B 税込14,700円
直径300x67mm 1.3kg

掛時計 薄型ソーラープラス 光エネルギーで動くソーラー

明るい場所なら光エネルギーだけで動き続けます。すっきりとした、薄型タイプの掛時計です。



SOLAR+
SF505W 税込26,250円
直径315x36mm 1.2kg
*グリーン購入法対応

掛時計 温度、湿度、カレンダー付 便利な情報一括表示!

正確な日付、曜日、時刻に加えて、お部屋や健康管理にも役立つ温度、湿度も表示。



KX352B 税込8,925円
直径350x45mm 1.4kg

●掲載商品の価格はすべてメーカー希望小売価格です。●電波は地域、地形、建物、天候、時間帯、設置場所により受信できない場合があります。●電波を受信してから次に受信するまでの間は、クォーツの精度で動作します。

★ 星空のレシピ VOL.311 平成25年2月1日発行
★ 発行/明石市立天文科学館 〒673-0877 明石市人丸町2-6 TEL078-919-5000



平成
25年度

市民協働の新しいカタチ

天ボラ大募集

皆さんは「天ボラ」をご存知でしょうか？

「魚や野菜に衣をつけて油で揚げる ……」 「それは天ぷら!」お約束のボケとツッコミをありがとうございます。「天ボラ」というのは、「天文科学館ボランティア」の略で、お客様相手に展示の解説をしたり、天体望遠鏡を使って観望会のお手伝いをしたり、プラネタリウム番組の中の星座物語に声の出演をしたり、子ども達に絵本を読み聞かせするなど、天文科学館で様々な活動をしています。今回は、そんな「天ボラ」さんに密着取材して特集記事に仕上げってみました。この特集を読んで「天ボラ」をやってみよう!と思われた方は、ぜひ申し込んでください。お待ちしております。

1.「天ボラ」の3つのグループ

1 展示解説グループ

3階展示室で、「太陽系儀」や「月の満ち欠け」の展示を中心に展示解説をします。来館者に近い視点で展示物と接するパートナーです。

2 キッズルーム・星優グループ

キッズルームで、絵本の読み聞かせなど子ども達が楽しく遊べるようお世話をします。星優に登録するとプラネタリウム番組の星座物語で声の出演も!

3 観望会グループ

口径 40cm 反射望遠鏡のある 16 階天体観測室の一般公開や天体観望会で、望遠鏡の操作や説明、星空案内をします。

2.「天ボラ」への参加方法

① 「星の友の会」への入会

天文科学館の「星の友の会」に入会してください。これは、ボランティアだけではなく星の友の会の活動も通じて交流を深め、より活動の幅を広げていくためです。

② 天ボラ登録申請書の提出

登録申請書は天文科学館で配布しています。また、天文科学館のホームページからでもダウンロードできます。

③ 研修会の参加

研修内容は、「天文科学館の概要」、「ボランティア制度と趣旨」、「天文科学館の展示について」などの基礎研修(1日)と実践研修(1日)があります。研修の内容は固い感じがしますが、天文科学館の職員などがわかりやすくお話ししますので、ご安心ください。

天ボラで活動するまでの流れ

- ① 「星の友の会」へ入会
- ② 天ボラ登録申請書を提出
- ③ 研修会参加
- ④ 研修会後に正式登録
- ⑤ 活動開始

3.その他

- ① 年齢制限 : 天ボラになれるのは16歳(高校生)以上です。
- ② 活動日 : 天ボラの活動日は、土・日・祝日及び夏休み期間等、長期休日や繁忙期です。
- ③ 活動費 : 1日の活動ごとに活動費(1,000円)を支給します。

1 展示解説グループ

天文科学館の展示は私達におまかせください

天文科学館の3階の展示室には、時や宇宙に関するさまざまな展示があります。しかし、展示の解説文を読むだけでは、なかなかわからないことも多いと思います。

そこで、「展示解説グループ」の出番です。展示室は、大きく分けて4つのコーナーに分かれています。エレベータを降りて正面の展示室は「子午線」に関するコーナー、その西隣は「宇宙」に関するコーナー、次が特別展示室で、最後に「時と暦」に関するコーナーです。

展示解説ボランティアは、これらの各コーナーで写真のようなオレンジ色のスタッフベストを着て、展示解説をしています。天文科学館のお客様は年間14万人、小さな子ども達から高齢者の方まで、いろいろな方が来られます。そのため、子ども達には、優しい言葉でわかりやすく、高齢者の方にはゆっくり丁寧に説明するよう心がけています。

みなさん、展示のことでわからないことがありましたら、遠慮なく私達に声をかけてください。



天ボラの声

八木裕彦さん

天ボラとして展示解説をするとお客さんに喜んでいただけるし、自分のスキルアップにもなります。天ボラ活動を通して知識が増え、最近星のソムリエに興味を持ち天文科学館外でも活動しています。星に詳しくない方でも興味があったら参加してください。やっていくうちにスキルアップができると思います。



四元照道さん

星が好きで、お客さんにお話をしたいと思い天ボラを始めました。天ボラをしてお客さんの反応があるととてもやりがいがあります。展示の説明をした後に「来てよかった」「わからないことがわかってよかった」と言われて嬉しかったです。星に興味がある方はぜひ参加してみてください。若い方からシルバーの方まで幅広い年齢層で活動しています。



★ 2 キッズルーム・星優グループ

明日の宇宙飛行士や天文学者は私達が育てます

①キッズルームで絵本や紙芝居の読み聞かせ

天文科学館の4階にあるキッズルームでは、子ども達を対象に絵本や紙芝居の読み聞かせをしています。

また、今年度から「軌道星隊シゴセンジャー」の大きなパペットを作りましたので、ゴールデンウィークや夏休みなどイベントで披露しています。よいこのみんな!4階のキッズルームに集まれ!



②声優登録制度

プラネタリウム投影のちょうど真ん中あたり、「今夜の星空紹介」が終わって「今月のテーマ」までの間に「星座物語」が流れています。この「星座物語」の声の出演も天ボラさんをお願いしています。天文科学館では、この声優さん達のことを「星優」と呼んでいます。「星優」になるには、天ボラに登録するとともに、声のサンプルも登録する必要があります。登録といっても、天文科学館から発表される「課題」をテープやMDに録音して提出するだけです。科学館では、星座物語の登場人物と録音された声のサンプルから、役にぴったりの方を見つけたいと思っています。



★ 3 観望会グループ

塔頂の口径 40cm 天体望遠鏡を駆使して星空解説します

天文科学館では、月に1回、16階観測室にある口径40cmの反射式天体望遠鏡で星を見る「天体観望会」をしています。天体観望会では、観測室だけではなく、4階日時計広場に小型の望遠鏡も出して、順番待ちの方にも星を見ていただけます。

この時に、観測室や日時計広場で、望遠鏡を操作したり、説明をしたりしてくれるのも天ボラさんです。初めて望遠鏡で星を見る人にも、わかりやすく望遠鏡の覗き方や観望天体の見所を教えてください。

観測室は、月に2回ほど、昼間にも一般公開をしています。晴れていれば、昼でも望遠鏡で金星等の星を見ていただくことができます。昼間に星が見えることに驚かれる方もたくさんいます。天ボラさんの説明を聞いていると、「星が好き」な気持ちも伝わってきて、星を見るのが楽しくなってきます。

その他に、小学校など、科学館の外で行われる天体観望会でも、天体観望会グループの天ボラさんが活躍しています。



砂川卓也さん

天ボラの声

人のためになりたいと思っていたところ「広報あかし」で天ボラの募集をしていたので応募しました。子どもとふれあえて楽しいです。



天ボラを始めると星に対してたくさんの興味が出てくるし、天ボラ活動をしていくうちに星のことを覚えてきます。みなさんにもひとつ興味を持っていただきたいと思います。

村上美智さん

天ボラをしていると小さい子どもと接することができ、折り紙やぬりえと一緒にすると楽しんで折ったり塗ったりして喜んで帰ってくれます。シゴセンジャーパペットの劇をした時に子どもがすごく喜んでくれていたのを見て、やってよかったなと思いました。天ボラを始めてからは皆さんの天ボラさんと交流する機会が増え、親しくなれました。高校生や若い方も活動されているのでいろいろな話ができ楽しいです。皆さんも一緒に天ボラをしませんか?



三好雄介さん

天ボラの声

今まで宇宙・天体等星の世界とはまったく縁がなかったのに、活動中に、困ったところを多くの先輩のサポートいただきました。天ボラを通じて多くの友人に出会えたこと、それは私にとって大きな財産になっています。



最近では、「16階観測室一般公開」時のプレゼンテーションの仕方や運営方法を考えることが多くなりました。「知識もあまりないし…」と不安に思っている方、まずは「天体観望会」や「16階観測室一般公開」にぜひ一度来てください。

福原直人さん

天体観望会グループで活動しているのは、自分でも星を見たいし、たくさんの人と一緒に見たいからです。2012年6月にあった金星の太陽面通過は、天ボラの仲間、一般のお客さん、小さな子供たち、新聞記者さんも一緒になってワイワイいながら見ました。一番大事なことは、「人と話をするのが好きかどうか」だと思います。星が好きだけど難しい、わからない。と考えているのなら、もったいないです。最初は「星キラキラしてきれいだな〜」で良いのです。興味がわいてからいろいろなことを一緒に勉強しましょう。



平成25年度 「天ボラ」只今募集中です!

ここまで読んで「私も天ボラになりたい!」と思った方は、さっそく申し込みましょう。

1 星の友の会に入会しましょう

星の友の会に入会すると、会報「135°の星空」(4回/年)や館広報誌「星空のレシビ」(6回/年)が届いたり、野外天体観測会などの行事に参加できます。年会費は個人会員が2,000円、家族会員が3,000円です。



野外天体観測会 西はりま天文台

★「星の友の会と天文科学館ボランティア「天ボラ」説明会・声優登録制度デモテープ録音会」について

- (1) 日時: 2013年3月30日(土)
 - 10:00~11:30 星の友の会・天ボラ説明会
 - 11:30~12:30 デモテープ録音会
- (2) 会場: 2階 天文ホール
- (3) 参加方法: 当日、直接会場にお越しください。
(注) 通常入館料が必要です。



2 天ボラ研修を受けましょう

天ボラで活動するためには、天文科学館が実施する研修を受けていただく必要があります。同じ内容の研修を3回実施していますので、いずれかを受講してください。また、できるだけ実践研修は基礎研修を受講した後に受講してください。平成25年度の研修日程は下の表のとおりです。

★平成25年度の研修日程

実施日	時間	研修内容
4月13日(土)	10:00~16:30	基礎研修
4月14日(日)	10:00~16:30	実践研修
4月20日(土)	15:00~19:00	天体観望会グループ(基礎)研修
5月19日(日)	10:00~16:30	基礎研修
5月25日(土)	10:00~16:30	実践研修
5月26日(日)	16:00~20:00	天体観望会グループ(基礎)研修
9月28日(土)	10:00~16:30	基礎研修
9月29日(日)	10:00~16:30	実践研修
10月6日(日)	15:00~19:00	天体観望会グループ(基礎)研修

これらの研修を受講する場合には事前申し込みが必要で
す。研修開催日の前日までに、お電話でお申し込みください。

展示解説グループあるいはキッズルーム・星優グループで活動される場合は、「基礎研修」と「実践研修」を、天体観望会グループで活動される場合は、この2つの研修に加え、基礎研修(天体観望会グループ)の研修も受けてください。その後、観測室一般公開、天体観望会への参加・経験していただき、これを実践研修(天体観望会グループ)とします。

詳しくは、3月30日(土)午前10時からの「星の友の会と天ボラ説明会」に参加していただくか、天文科学館までお問い合わせください。

なお、この説明会のあと「星優登録制度」の課題を録音するデモテープ録音会を午前11時30分から実施いたしますので、「星優」に登録ご希望の方はぜひこちらもご参加ください。ただし、この説明会や録音会には入館料や駐車料金が必要です。



てんもん 教えて キッズコーナー



すい せい 彗星って ほんし どんな星?

すいせい たいよう まわ ちい てんたい こし がつ がつころ
 彗星は、太陽のまわりを回る小さな天体だ。今年の3月~4月頃にはパンスターズ彗星が、11月~12月頃にはアイソン彗星が肉眼で見られるほど明るくなるかもしれないぞ。
 では、彗星はどんな星だろう?

すいせい み Q. 彗星はどんなふうに見えるの?

A. 彗星はふつうの星とは違って、ぼんやりとした姿をしている。明るい彗星は、太陽と反対方向に尾がのびることもある。その姿から「ほうき星」とも呼ばれるんだ。
 彗星は毎年数十個発見されているけど、肉眼ではっきりわかる程明るい彗星は10年に一度くらいしか出現していないんだ。楽しみだね。

すいせい なに Q. 彗星は何でできているの?

A. 彗星は、氷や砂のかけらが混ざった、汚れた雪だまのようなものなんだ。太陽からの距離が遠い時には、冷たく固まっているけど、太陽に近づくと氷がとけだしてぼんやりとした姿になる。さらに太陽に近づくと尾がのびてくる。

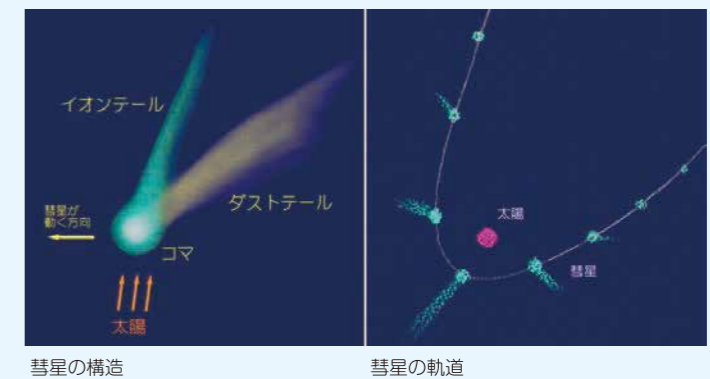
すいせい ほんし 彗星には名前がついているよね?これは、発見した人の名前が付けられるんだ。天文科学館の元副館長・菅野松男さんは、1983年に「菅野・三枝・藤川彗星」を発見したぞ。

菅野・三枝・藤川彗星 菅野松男 さん

尾は2種類あるぞ。電気を帯びたイオンの尾(イオンテール)と、チリでできた尾(ダストテール)だ。尾の形は、彗星によって違うよ。



(シゴセンジャーブルー)



彗星の構造 彗星の軌道



(ブラック星博士) 「彗星の尾がのびテールなんちゃって!!」

パンスターズ彗星が見ごろ

3月中旬から4月にかけてパンスターズ彗星(C/2011 L4)が明るくなります。「パンスターズ」とはプロジェクトの名前で、英語ではPan-STARRS (Panoramic Survey Telescope And Rapid Response System)と書きます。プロジェクトで使用されている望遠鏡はハワイのマウイ島ハレアカラ山に設置され、

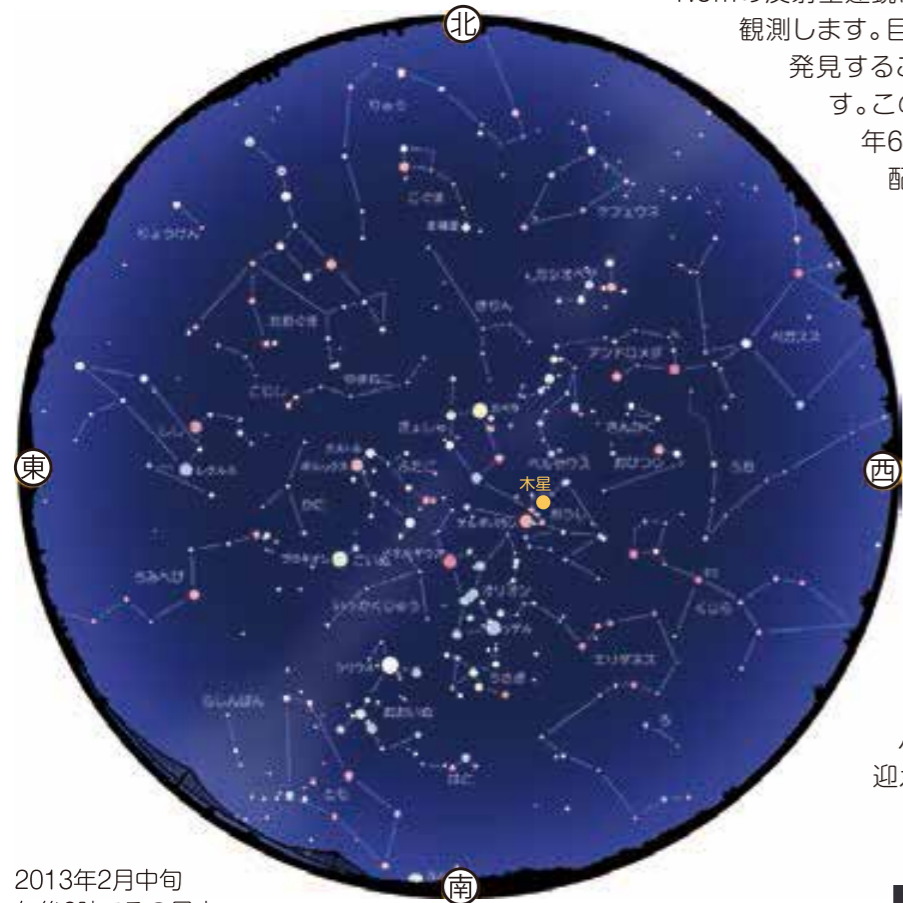
1.8mの反射望遠鏡に観測専用の巨大デジタルカメラで空全体を観測します。目的は地球に衝突する可能性のある小天体を発見することで、多くの小惑星や彗星を発見しています。

このたび観測されるパンスターズ彗星は2011年6月6日に発見されました。(地球にぶつかる心配はありませんのでご安心ください。)彗星は順調に明るくなっており、3月10日に太陽に最も接近し、最も明るくなります。(約3等)

ただし、低空ですので観測条件はそれほどよくありません。3月末から4月になると北天に移動します。だいぶ暗くなっていますが、山間部など空の暗い場所では観測ができるでしょう。彗星の観測には口径4~5cm、7~10倍程度の双眼鏡を使うと良いでしょう。

2013年は彗星が話題になる「彗星イヤー」になりそうです。3月のパンスターズ彗星より期待されるのがアイソン彗星。11月末~12月には金星よりも明るくなり、長い尾を見せてくれる可能性があります。

パンスターズ彗星の観測は、アイソン彗星を迎える良い練習になることでしょう。



2013年2月中旬
午後8時ごろの星空

2月の天文現象

- 4日 立春
- 17日 水星が東方最大離角
- 18日 雨水

3月の天文現象

- 5日 啓蟄
- 10日 パンスターズ彗星が太陽に最接近
- 20日 春分



日没の30分後のパンスターズ彗星の位置

★ イベントレポート

☆熟睡プラ寝たリウム

●11月23日(金・祝)

昨年に引き続き第2回目になるこの催しは全国4箇所のプラネタリウム施設で実施されました。当館では茨城県から鳥取県まで176



熟睡解説員

名の方に参加していただきました。あかし玉子焼ひろめ隊による玉子焼の販売の後、日本プラ寝たリウム学会研究発表会基調講演として、日本睡眠学会理事であり京都大学医学部准教授の角谷寛先生に「熟睡の大切さ」についてお話ししていただきました。その後の「熟睡プラ寝たリウム」の投影では、パジャマスタイルの「熟睡解説員」が心地よいBGMを交えながら夏から冬にかけての星空を解説し参加者の皆様に眠りに誘いました。アンケート結果では熟睡した方が19%、ウトウトした方が53%、完徹した方が43%でした。終了後は熟睡証明書または完徹証明書をお渡ししました。



角谷寛先生

☆クリスマスアワー ●11月27日(火)~12月24日(月・祝)

幼児を対象としたプラネタリウム「クリスマスアワー」を実施しました。秋や冬の星座のお話や、サンタさんが登場し、クリスマスツリーの星のお話をしてくれました。

たくさん子どもたちが、サンタさんと一緒にクリスマスの歌を歌ってくれました。サンタさんからプレゼントは何だったのかな?



☆クリスマスJAZZコンサート ●12月22日(土)

辛島すみ子 with Friends のプラネタリウムコンサートは、クリスマスソングの定番「Winter wonderland」で開演。

5月の金環日食や8月のプラネタリウム長寿日本一、2013年に見られる彗星の話題とそれぞれにちなんだ歌とのコラボレーション、最後は会場の皆さんで「きよこの夜」を合唱しました。

プラネタリウムの星空とクリスマスソングで和やかな雰囲気になり、特別な夜となりました。



☆全国星空継続観察「スターウォッチング・ネットワーク」

●1月12日(土)

スターウォッチング・ネットワークは、星の見え方を調べることで、大気や光害について考える、環境省が主体となったイベントで、天文科学館では、毎年行っています。双眼鏡の使い方を練習した後、肉眼で天の川は見えるのか?おうし座のすばるは、何等星の星まで観察することができるのか?参加者のみなんで調べました。次回は、夏に実施する予定です。

☆新春お年玉スペシャル

●1月12日(土)~14日(月・祝)

今年もキッズプラネタリウムに軌道星隊シゴセンジャーが登場しました。ブラック星博士との2013年初の戦いもブラック星博士のさむ~いダジャレでドーム内は笑いに包まれました。

館内を回って宝さがしをする「新春宝さがし大ビンゴ」では「あった!」「わあ~こんなところに!」という声が館内に響き始めることができました。

「絵馬書初め」や「シゴセンジャーとブラック星博士に年賀状を書こう!」のコーナーには今年も力作がたくさんそろいました。今年も健康で良い一年になりますように!



〈広告〉

星とともに、技術をもとに。

美しい星空を創る

株式会社 五藤光学研究所
〒183-8530 東京都府中市矢崎町4-16 ☎042(362)5311

GOTO INC

ドーム空間のトータルクリエイター

- 光学映像機器・大型望遠鏡の製造販売
- ドーム建設工事
- 機器保守保全受託
- プラネタリウム番組・コンテンツ制作
- 施設運営受託、イベント・プロデュース 他

ハイブリッド・プラネタリウム
<http://www.goto.co.jp/>

プレゼントコーナー

天文科学館ペアチケット 5組10名様に当たる!

特集「『天ボラ』大募集!」をはじめとする今号はいかがでしたか?次号もどうぞお楽しみに!!

プレゼントの応募方法

- ★本誌に関するご意見・ご感想などを、住所、氏名をご記入の上、ハガキまたはFAXでお送りください。
- ★プレゼントの当選は発送をもってかえさせていただきます。応募者多数の場合は、抽選となります。

締切 平成25年3月26日(火) 必着

FAXの場合は **078-919-6000** まで

「星空のレシピ」311号の感想を書いてプレゼントに応募しよう!

あて先

切手 6730877

明石市人丸町2-6
明石市立天文科学館
「星空のレシピ 311号」
プレゼント係

① 本誌に関するご意見・ご感想

② 住所

③ 氏名

おもと うら (FAXはうらのみ)

本誌の配布先

次号は4月に発行の予定です。

本誌は、天文科学館で配布しているほか、各市民センターやサービスコーナー等の市の施設、近隣の関係機関他(博物館・明石や神戸の医院・銭湯・観光ホテル・旅行会社等)にも配布しています。

2月・3月のイベント案内



休館日のお知らせ	2	3	4
	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
赤文字：開館	3 4 ⑤ 6 7 8 9	3 4 ⑤ 6 7 8 9	1 2 3 4 5 6
青文字：休館	10 11 12 13 14 15 16	10 11 12 13 14 15 16	7 8 9 10 11 12 13
○：工事のため臨時休館	17 18 ⑱ 20 21 22 23	17 18 ⑱ 20 21 22 23	14 15 16 17 18 19 20
	24 25 ⑳ 26 27 28	24 25 ⑳ 26 27 28 29 30	21 22 23 24 25 26 27
			28 29 30

天体観望会の申し込みについて

◆観望料 1人 200円 ◆電話番号 (078) 919-5000
 ◆申込方法 開催日の1ヶ月前から前日までに電話又はHPからお申し込み下さい。 ◆定員 100名
 代表者の氏名・参加人数・電話番号・駐車場の利用の有無をお知らせ下さい。駐車場ご利用の場合は別途200円必要です。

プラネタリウム一般投影

解説員が、その日の夜に見える星空と、期間ごとのテーマにそったおはなしをわかりやすく紹介します。

★日本の星・アジアの星
 1月5日(土)～2月28日(木)
 星の名前をつけたのは西洋の人たちだけではありません。日本やアジアでの星の話を紹介しします。



羽子板星


★はやぶさ2計画進行中!
 3月1日(金)～4月14日(日)
 「はやぶさ2」ミッションは、「はやぶさ」と同様に小惑星からのサンプルリターンを行うミッションです。いよいよ動き出したはやぶさ2ミッションについて紹介します。



はやぶさ2 (提供: JAXA)

特別展

★ふくしま星・月の風景
フォトコンテスト展
 2月2日(土)～4月7日(日)
 「ふくしま星・月の風景フォトコンテスト展」の巡回展示。福島県内各地の風景と星・月が織りなす、幻想的な世界をお楽しみください。



「月夜の弁天島」長谷川 清夫

プラネタリウムコンサート

素敵なお生の音楽と満天の星空をお楽しみください。

★プラネタリウム「バレンタイン」コンサート
 〈日 時〉2月9日(土) 18:30開演(18:00開場)
 ※コンサート終了後に天体観望会を行います。(天候により中止)

〈出演者〉
 李 亜輝(二胡)
 富田 裕三子(ピアノ)

〈場所〉明石市立天文科学館 2階プラネタリウムドーム

〈前売りチケット〉 700円

〈チケット販売場所〉
 李亜輝・富田裕三子
 明石市立天文科学館・セブンイレブン明石市役所店・アスパア明石(4Fコミュニティステーション)・蔵松堂(JR大久保駅前)・ステーションプラザ明石西館 観光案内所

キッズプラネタリウム

幼児や小学校低学年を対象とした子どもむけプラネタリウムです。毎週土曜・日曜・祝日の第2回目の投影に実施します。

※イベント等により内容を変更することがあります。

★キラキラふゆのダイヤモンド
 1月5日(土)～2月24日(日)
 冬の夜空には、明るい星がダイヤモンドのように並んで、キラキラかがやいています。冬の星や星座についてお話しします。



冬のダイヤモンド

★ひしゃくぼしのおはなし
 3月2日(土)～4月21日(日)
 星がひしゃくのかたちに並んだひしゃくぼしのおはなしや春の星座をお話しします。



ひしゃくぼしの物語

その他のイベント

★プラネタリウム生誕90周年記念事業②
「室内天体撮影体験教室」
 プラネタリウムを使って「室内天体撮影」を体験してみませんか?

●撮影編 3月20日(祝) 16:40～19:00
 撮影方法の説明と撮影

●鑑賞編 3月24日(日) 15:20～17:00
 各自自慢の作品を持ち寄って鑑賞会

※各自の自信作1枚をA1サイズのポスターにして館内展示後プレゼント!

〈参加費〉1,350円
 (2日間の入館料とポスター製作費を含みますが、駐車料金は別途必要です)

〈定員〉20名(応募者多数の場合は抽選になります)

〈参加条件〉手動で焦点が合う広角レンズ、シャッターが手動で2・3分程度開けられるデジタルカメラ、三脚、レリーズ等を撮影日に持参できる方。

〈応募方法〉往復ハガキに、①氏名、②当日連絡がとれる電話番号、③駐車場の利用の有無、を書いて 2月28日(必着)までに天文科学館まで郵送してください。



ジュニア天文教室

毎月第四土曜日の1回目のプラネタリウムです。小学4年生以上を対象とした天文教室です。

2月23日(土) オーロラの神秘
 3月23日(土) パンスタース計画

2月	3月	4月
～2月28日(木) 「日本の星・アジアの星」	3月1日(金)～4月14日(日) 「はやぶさ2計画進行中!」	
～2月24日(日) 「キラキラふゆのダイヤモンド」	3月2日(土)～4月21日(日) 「ひしゃくぼしのおはなし」	
2月2日(土)～4月7日(日) 「ふくしま星・月の風景フォトコンテスト」	3月10日(日) ギャラリートーク「ふくしま星・月の風景」 講師:安藤 享平(郡山ふれあい科学館) ※詳しくは、お問い合わせください。	
2月16日(土)【予約制】 18:30～(受付18:00～) 「ペテルギウス」	3月2日(土)【予約制】 18:30～(受付18:00～) 「オリオン大星雲」	
2月17日(日)11:00～12:30 講演会「アジアの星」 講師:古屋 昌美(かわべ天文公園) ※詳しくは、お問い合わせください。	3月10日(日)・3月15日(金) 18:00～19:00【予約制】 「パンスタース彗星」 ※詳しくは、お問い合わせください。	3月24日(日)18:30～(受付18:00～) 「特別天体観望会」【予約制】 ～特別天体観望会への参加方法～ 開催日の3週間前までに往復はがきにより、お申込みください。1枚のはがきにつき1回の特別天体観望会、最大4名まで申し込むことができます。 定員 20名 参加費 500円
2月9日(土)【前売券制】 18:30開演(18:00開場) 「バレンタインコンサート」	3月24日(土)12:15～12:55 日本プラネタリウム学会総会	
2月11日(月・祝)17:30～19:30 「フチ・ナイトミュージアム」(恋活編) ※申込受付は、1月11日(金)に終了しました。		
2月17日(日)14:30～15:20【事前申込なし】 【出演】山口 和子(ソプラノ) 西村 彩(ピアノ)	3月17日(日)14:30～15:20【事前申込なし】 【出演】あんさんぶる どーなっつ(リコーダー・アンサンブル)	
2月23日(土)9:50～10:40【事前申込なし】 「オーロラの神秘」	3月24日(日)9:50～10:40【事前申込なし】 「パンスタース計画」	

学校・園と力を合わせてこんなことしています!

天文科学館では、子どもたちの「夢」と「学び」を育むために学校・園と連携した事業や研修会を実施しています。その取り組みをご紹介します。

11月に中学生が天文科学館で職業体験をしました。

「神戸市トライやる・ウィーク」 11月6日～11月9日
 垂水中、東落合中、西台中から男女各3名、計6名の生徒が来ました。3階天文サロンの書籍整理、播陽幼稚園・長寿院保育園でのクイズや紙芝居を園児に披露するなど、4日間活動しました。

「神戸大学附属中等教育学校インターンシップ学習」 11月14日～11月16日
 明石校舎、住吉校舎から男子各1名、計2名の生徒が来ました。「和時計」の製作キットを作ったり、望遠鏡の組み立てをしたり、3日間活動しました。

職業体験をした中学生の皆さんは、机の前の勉強では得ることができない体験ができたのではないのでしょうか。(もちろん机の前の勉強も大切です)中学生の皆さんが今回の体験で得たことを、今後の生活に役立てることが出来ればと思います。

